

広報ながいずみ

NAGAIZUMI TOWN INFORMATION

特集
主なお知らせ

決算概要
マイナンバー制度が始まります！
健康公園に行こう！

2～5
6～7
8～9



2015
No.1252
10.1

手づくり水鉄砲に挑戦！～ワンデーチャレンジ～

9月5日(土)に水と緑の杜公園でワンデーチャレンジが開催されました。おもちゃづくりコーナーでは水鉄砲やオリジナルヨーヨーを作ることができ、子どもたちは自分で作った手作りのおもちゃで夢中になって遊んでいました。(21ページに掲載)

決算概要

—平成26年度、町の家計簿—

町の平成26年度の決算は下表のとおりです。平成25年度に比べ、歳入は町民税などが増収したことにより町税全体では過去最大規模となったものの、国庫支出金の減などが主な要因で6,820万5千円（0.4%）の減、歳出は元長窪広場の整備や中土狩第二広場の用地取得が完了したこと、町立幼稚園への空調機器設置などが主な要因で5,445万6千円（0.4%）の増となりました。

形式収支（歳入歳出の差）は、9億5,147万2千円の黒字で、平成25年度に比べ1億2,266万1千円の減、形式収支から平成27年度への繰越事業に充当する財源を差し引いた実質収支は、8億7,147万円の黒字となりました。

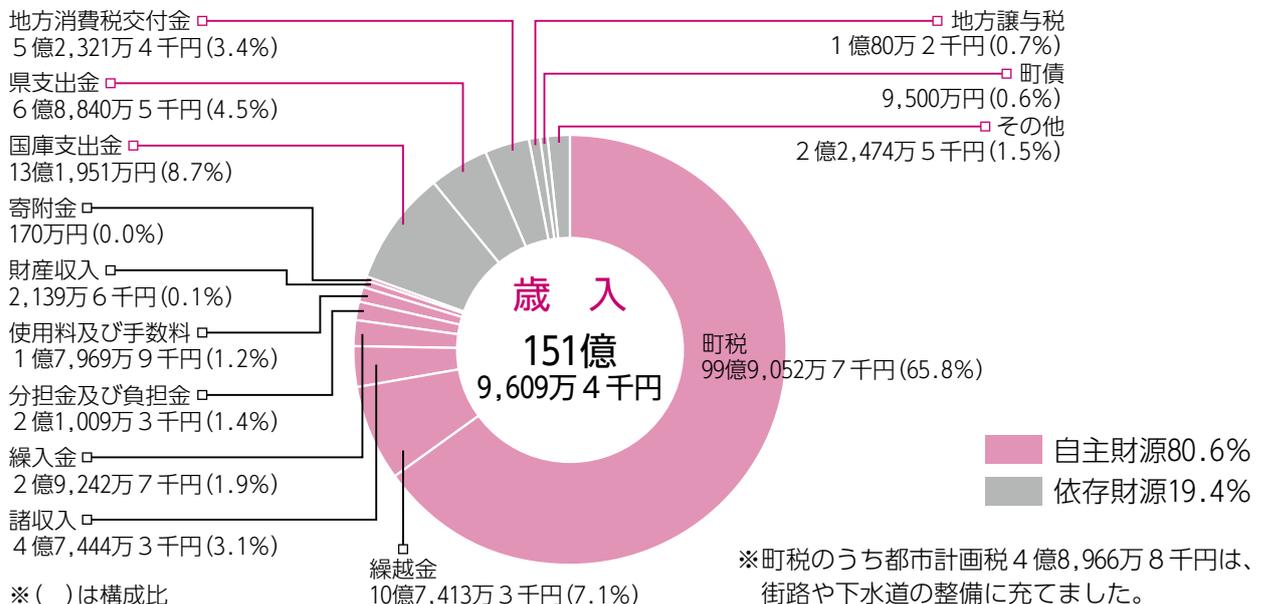
	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率
歳入総額	151億9,609万4千円	152億6,429万9千円	-6,820万5千円	-0.4%
歳出総額	142億4,462万2千円	141億9,016万6千円	5,445万6千円	0.4%
形式収支	9億5,147万2千円	10億7,413万3千円	-1億2,266万1千円	-11.4%
繰越充当財源	8,000万2千円	2億1,471万円	-1億3,470万8千円	-62.7%
実質収支	8億7,147万円	8億5,942万3千円	1,204万7千円	1.4%

一般会計【歳入】

町の収入のうち80.6%が自主財源

町の歳入を財源構成からみると、町が自らの権限で収納し、使い道についても自主的に決めることができる町税や繰入金などで構成する「自主財源」と、国や県により決められた額が交付される国庫支出金や県支出金などで構成する「依存財源」に分類することができ、自主財源の割合が高いことが好ましい財政状況といえます。

平成26年度決算の自主財源と依存財源の構成比は、町税などからなる自主財源比率が80.6%で、前年度を4.5ポイント上回りました。この主な要因は、過去最大規模の町税を確保したことと、国庫支出金や県支出金などの依存財源が減ったことによるもので、自主財源比率が高い状況が続いています。



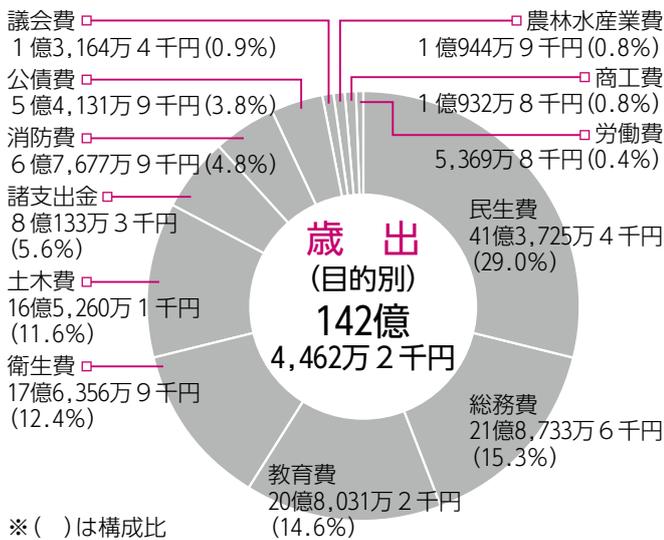
一般会計【歳出】

目的別では民生費、性質別では物件費がトップ

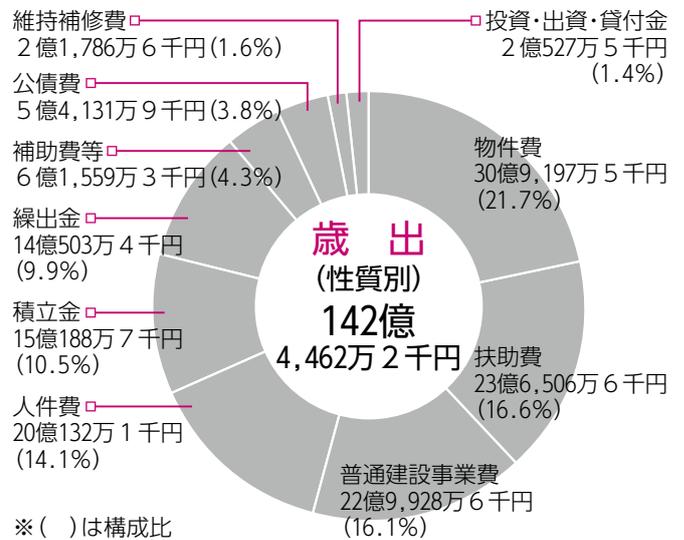
自治体の支出は総務や土木など行政事務のおおよその配分状況が分かるよう行政目的別に区分した「目的別経費」と、予算の使用内容によって、執行経費を人件費や物件費、普通建設事業費など経済的性質別に区分し、財政体質を見る「性質別経費」に分けられます。

目的別では、民生費が障害者自立支援費の増などにより最も多く、性質別では、物件費がマイナンバー（社会保障・税番号）制度の導入に向けた住民情報システムの改修や道路台帳のデジタル化などにより最も多くなりました。

目的別



性質別



平成26年度に実施した主な事業

- 町立幼稚園の空調機器整備 (2,600万円)
- 竹原グラウンドの人工芝生張替え工事 (1億600万円)
- 住宅用新・省エネルギーシステム設置費補助金 (1,300万円)
- 大規模地震に備えた防災体制の充実・強化 (5,500万円)
- 高機能消防指令センターシステムの整備 (9,600万円)
- 消防救急デジタル無線の整備 (3,400万円)
- 都市計画道路池田柵線の整備 (1億1,200万円)
- 身近な広場の整備 (1億5,600万円)



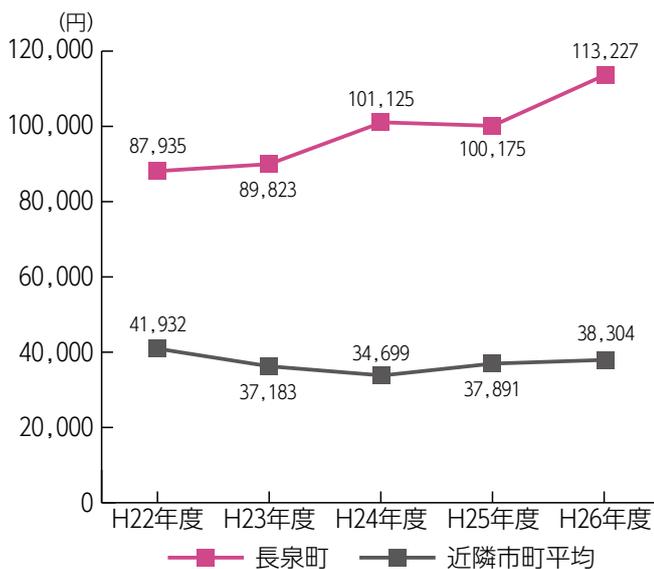
町の貯金と借金

貯金を高い水準で維持しつつ、借金は減少傾向

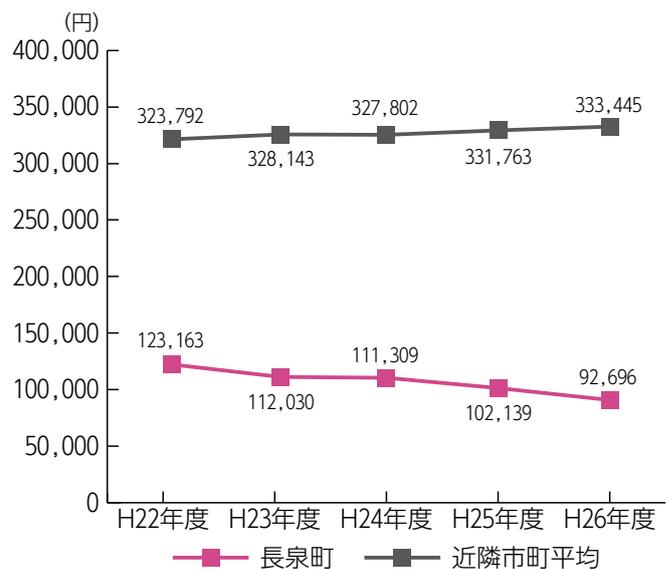
下記のグラフを見ると、他市町と比較して、財政調整基金（貯金）を高い水準で維持していきながら、健全な財政運営により、地方債残高（借金）を減らしていることがわかります。

なお、基金には財政調整基金以外に、町営住宅修繕基金や衛生施設建設基金、公共施設長寿命化基金などの、特定した目的のための基金があります。

住民1人当たりの財政調整基金（貯金）



住民1人当たりの地方債残高（借金）



※「近隣市町平均」は沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、小山町、清水町、函南町を平均化したものです。

特別会計【歳入・歳出】

特別会計とは特定の事業を行うために法律や条例に基づき、一般会計と区別して管理し事業を行う会計です。また、水道事業は、地方公営企業法の適用を受け、発生主義に基づく企業会計方式が採用されています。

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	
国民健康保険事業	40億2,501万7千円	38億5,586万円	1億6,915万7千円	
後期高齢者医療	6億4,903万1千円	6億3,989万2千円	913万9千円	
介護保険事業	24億3,810万3千円	23億1,901万1千円	1億1,909万2千円	
下水道事業	8億7,966万4千円	7億9,719万6千円	8,246万8千円	
土地取得事業	65万9千円	65万9千円	0円	
水道事業	収益的（運営面）	5億1,155万6千円	4億664万9千円	1億490万7千円
	資本的（設備面）	2億2,307万2千円	5億1,437万1千円	※－2億9,129万9千円

※不足額については過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

町の財政状況の診断

すべての項目で「健全」な段階

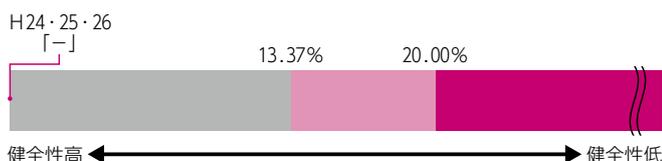
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、各自治体は財政の健全性に関する比率（健全化判断比率・資金不足比率）を平成19年度決算から公表しています。

町では、これまで自主財源の確保や起債の抑制、事務事業評価による事業の見直しなどを積極的に行ってきたことにより、いずれの比率も健全な財政状況を示しています。



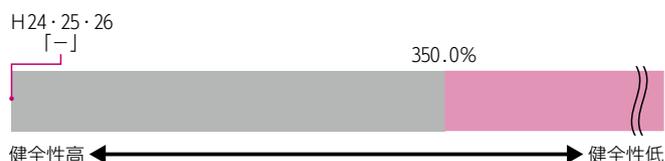
実質赤字比率

比率が高いほど普通会計の赤字の解消が難しくなります。長泉町の場合は赤字が生じていないため「-」と表記しています。



将来負担比率

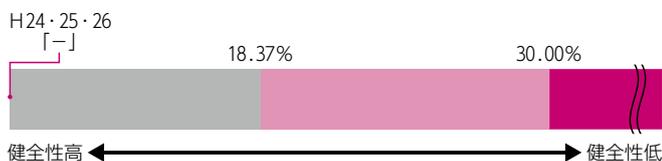
町の負債が標準的な年間収入の中でどれほどの割合を占めるかを表します。比率が高いほど負債が将来の財政運営を圧迫します。平成26年度も負債の返済に充てることができる基金などが、実質的な負債額を上回ったため「-」と表記しています。



連結実質赤字比率

比率が高いほど特別会計などを含めた全会計の赤字の解消が難しくなります。

長泉町の場合は赤字が生じていないため「-」と表記しています。



資金不足比率

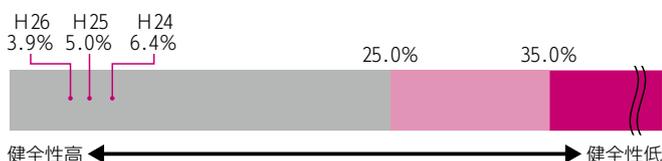
企業会計の資金不足の割合を表し、比率が大きいほど資金不足が生じていることとなります。長泉町には2つの企業会計がありますが、いずれも資金不足はありませんでした。

	長泉町	※経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0%
下水道事業特別会計	-	20.0%

※基準を越えた場合、自主的な改善による財政の健全化が必要

実質公債費比率

比率が高いほど町の借金返済が難しい状況といえます。前年度と比べて1.1ポイント下回りました。



●問い合わせ ● 企画財政課 ☎989-5503

マイナンバー制度が 始まります！

10月から、マイナンバー（社会保障・税番号）の通知が始まり、平成28年1月から利用が開始されます。ここでは、マイナンバー制度の概要や今後のスケジュールをお知らせします。

マイナンバーとは

マイナンバーは、日本国内に住
民登録のある全ての方に通知され
る、一人一人異なる12桁の番号で
す。番号から個人が特定されるこ
とがないよう、住所や生年月日な
どとは関係のない番号が割り当て
られます。

また、法人にも1法人につき1
つの法人番号（13桁）が指定され
ます。

マイナンバーの利用範囲

マイナンバーの利用は、法律に
規定された「社会保障」「税」「災
害対策」の分野に限定されていま
すが、今後、さまざまな分野での
活用が検討されています。

■社会保障

医療保険給付の請求、福祉分野
の給付、生活保護など

■税関係の手続き

確定申告書、法定調書への記載
など

■災害対策

防災・災害対策の事務、被災者
台帳の作成事務など

マイナンバー制度導入の メリット

■公平かつ公正な社会の実現

所得や行政サービスの受給状況
を把握しやすくなり、負担を不当
に免れたり給付を不正に受けたり
することを防止するほか、本当に
困っている方にきめ細かな支援を
行うことができるようになります。

■住民の利便性の向上

福祉などの申請時に用意する書
類が減り、手続きも簡素化され住
民の負担が軽減します。

行政機関が保有する自分の情報
の確認や、さまざまな行政サービ
スを受け取ることもできるよう
になります。

■行政の効率化

行政事務が効率化され、手続き
が正確でスムーズになり、住民ニ
ーズにこれまで以上にこたえるこ
とができるようになります。

よくある質問

Q. マイナンバーは使わない
ので通知カードはいらな
いのですが。

A. 平成28年1月以降は、行
政機関などへの申請にマイ
ナンバーの記載が必要とな
る場合がありますので、必
ずお受け取りください。

Q. 個人情報外部に漏れる
おそれはありませんか。

A. マイナンバーを安心・安
全にご利用いただくため、
制度とシステムの両面から
個人情報保護するための
措置を講じています。法律
に定められた場合を除き、
マイナンバーの収集・保管
を禁止しています。また、
個人情報分散管理するこ
とにより、芋づる式の情報漏
えいを防止します。行政機
関の間のやりとりでも直接
マイナンバーは使用せず、
システム使用者を制限し、
通信する場合は暗号化を行
います。

これからのスケジュール

1 通知カードが届きます（10月～）

10月以降、マイナンバーをお知らせする「通知カード」が簡易書留で届きます。通知カードは、平成27年10月5日現在、住民票に記載されている住所に送付されます。次の4つが入っているか確認しましょう。

送付書類／

- ①通知カード
- ②個人番号カード交付申請書
- ③返信用封筒
- ④説明書

※簡易書留は郵便配達員が直接手渡しするものです。不在の場合、一定期間郵便局で保管され、保管期間を過ぎると町に戻されます。保管期間内の受け取りは不在票に記載された郵便局にご連絡ください。

2 個人番号カードの申請ができます

個人番号カードの交付を希望される方は、通知カードが届いたら、申請の手続きをすることができます。希望される方は、必要事項を記入した交付申請書と顔写真を返信用封筒に入れてポストへ投函してください。詳細は、通知カードに同封されている説明書をご覧ください。

3 個人番号カードの受け取りができます（1月～）

平成28年1月以降、個人番号カードの受け取りができます。個人番号カードについての詳細は、広報ながいずみ12月1日号でお知らせしますので、ご確認ください。

マイナンバー制度についての詳細は

マイナンバーコールセンター（全国共通ナビダイヤル）

☎ 0570-20-0178 （外国語窓口 ☎0570-20-0291）

開設時間／午前9時30分～午後5時30分（土・日曜日、祝・休日、年末年始を除く）

※通話料がかかります。

■内閣官房ホームページ

🌐 <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

●問い合わせ●

- ・マイナンバー制度について 企画財政課 ☎989-5504
- ・通知カード、個人番号カードについて 住民窓口課 ☎989-5509



心も体も健康に！

健康公園に行こう！

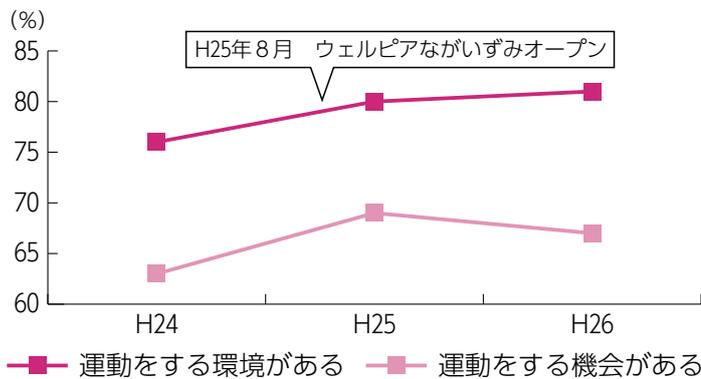
健康公園が整備されて、約2年が経過しました。町では、健康公園を拠点とした健康づくりについて、早稲田大学と共同で研究を行っています。ここでは、研究でわかってきた皆さんの健康づくりの状況や、町の健康づくりへの取り組みを紹介し、皆さんの運動習慣を見直すきっかけにしてください。

健康公園の利用状況

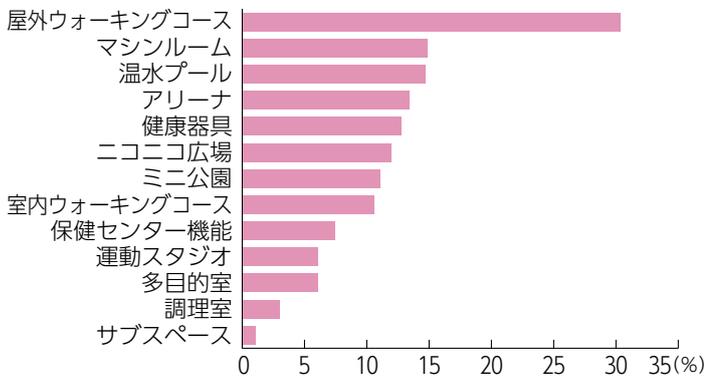
町民の健康づくり拠点施設として、ウエルピアながいずみを含めた健康公園の整備が平成26年度に完了しました。町では、早稲田大学スポーツ科学学術院荒尾研究室と協力して、健康公園によって町民の健康づくりがどのように変化するか、平成24年度から3200人の方を対象に調査を実施してきました。

その結果、「自分のまわりに運動をする環境や機会がある」と感じている人の割合は、ウエルピア

グラフ1 運動をする環境や機会がある人の割合



グラフ2 利用したことがある施設（平成26年度）



ながいずみオープン前の平成24年度に比べ、平成25年度、平成26年度は増加していることがわかりました（グラフ1）。また、ウエルピアながいずみの認知度はオープン約8カ月後に90%を超え、利用したことがある方の割合は平成25年度には38%、平成26年度には43%となり、4割以上の方が利用していることがわかりました。なお、健康公園内で利用したことがある施設は、屋外ウォーキングコース、マシンルーム、温水プールなど、個人利用できる施設が上位を占めました（グラフ2）。



◀ 1周875mの屋外ウォーキングコース(右)と1周1700mの室内ウォーキングコース(左)

中でも、屋外ウォーキングコースを利用したことがあると答えた方が最も多く、屋外ウォーキングコースが多くの皆さんに利用されていることがわかりました。ウエルピアながいずみの2階には、1周1700mの室内ウォーキングコースがあり、無料で利用できます。雨天のときや屋外が暑いとき、寒いときにはぜひ室内ウォーキングコースをご利用ください。※室内用運動靴をご用意ください。アリーナ観客席を使用するイベントの際には、室内ウォーキングコースが利用できないことがあります。

運動をするきっかけに

マシンルームの利用者へのアンケートでは、平成25年度、26年度の調査とも約40%の方がマシンルームを利用するようになる前は「運動をしていなかった」と答えました。マシンルームが運動習慣を身に付けるきっかけとなっていると考えられます。

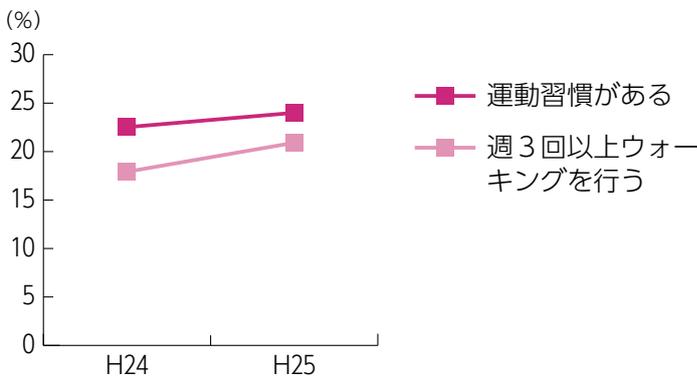


▶マシンルームでは、有酸素運動ができるマシンのほか、筋力トレーニングマシンなど、数種類のマシンを使用できます。マシンの台数には限りがありますが、混雑しているときはストレッチ体操の案内なども行っています。

運動している人が増加！

ウエルピアながいずみオープン前の平成24年度とオープン半年後の平成25年度に行った運動習慣に関する調査結果を比べると、「運動習慣がある人（1回30分、週2回以上の運動を1年以上継続している人）の割合」は22.5%から24%となり、増加傾向にあります。また、週3回以上ウォーキングを行う人の割合は、17.9%から20.9%に増加しました（グラフ3）。

グラフ3 運動をしている人の割合の変化



各種健康づくり教室

町では、継続的な健康づくりを促す取り組みとして、健康づくり教室の充実を図っています。町の健康課題を分析し、生活習慣病を予防するための対策として、健康づくりのきっかけとなる教室や、膝関節痛を予防するための教室などを開催しています。各種検診の結果や、体組成測定の実績データを活用し、保健師や管理栄養士、健康運動指導士が健康づくりのためのアドバイスを行っています。



▲女性のための健康づくり教室

▼膝痛予防教室



働き盛り世代が参加しやすいように、全1回で行う教室や夜間開催の教室も実施しています。

教室例／

- ・アフターファイブのメンズ・ボディ・コンディショニング教室
- ・ナイトノルディックウォーク教室
- ・健診前の健康づくりチャレンジ教室
- ・3カ月でマイナス3kgチャレンジ教室

※次回の募集は広報ながいずみ10月15日号で行いますので、ぜひご参加ください。

まちづくり効果賞を受賞！

町では、国土交通省に「まちづくり交付金」の対象事業として認められた計画に基づき、健康公園などの施設の整備や町民に対する健康づくりへの取り組みを進めてきました。今回、この取り組みが高く評価され、第10回まち交大賞「まちづくり効果賞」を受賞しました。



▲賞状を掲げる遠藤町長

問

健康増進課

☎ 989-5510

【データ出典】早稲田大学スポーツ科学学術院荒尾研究室と長泉町の共同研究

写真 コンテスト 結果発表！



▲優秀賞「はじける笑顔」
衛藤一男さん（納米里）



▲優秀賞「夏の夜の夢」
岩崎恭子さん（静岡市）

▼わくわく大賞「Jump!!!」 鈴木敏雄さん（三島市）



▼優秀賞「YEAH!!!」
渡邊里乃亜（三島市）



▲入選「夏の夜に舞う」
望月正晴さん（静岡市）



▲入選「パワー全開」
山田英雄さん（静岡市）



▲入選「わくわく うきうき」
望月美智子さん（静岡市）



▲入選「輝きの中」
杉本聖子さん（藤枝市）



◀入選「躍動」
長田留夫さん（下土狩）

●問い合わせ●長泉わくわく祭り実行委員会事務局
（産業振興課内） ☎989-5516

7月29日(水)~31日(金)まで広島市を訪れ平和研修を行った中学生の代表生徒による作文を紹介します。
研修の詳細については広報ながいずみ9月1日号をご覧ください。

平和とは何か

長泉中 水谷歩生

平和記念資料館へ行くと、ゾツと鳥肌がたつほど空気が違いました。私の知らない世界がここにはある、と感じました。一番印象に残ったのは、皮膚のただれた人形です。指や腕の皮膚がただれて、顔は赤くなっていました。ピースボランティアの方によると、原爆体験者の方は「この人形はまだ良いほうで、もっとひどい状態の人もいた」と仰っていたそうです。

2日目に一番印象に残ったのは、旧日本銀行に展示してあった絵や写真です。そこでは様々な項目で区別して展示がしてありました。それら全てにおいて共通して言えることは、「悲しい」ということです。それも普通の悲しさではなく、その場に私自身が立ち、一緒に絶望し、立ち尽くしてしまうような悲しさがありました。男の子が助けを求めている絵、ハエがたかっている人の写真など、その時その場にいた人の気持ちが分かるような、生々しい絵や写真がありました。

この研修を終えて、私は原爆について知ることができ、また平和について考えることができました。平和とは何か、どうすれば平和に



なるのか、この問いは世界の人人々に考える義務があると、私は思います。世界の中で核を落とされたのは日本しかないのです。その日本だからこそ、世界の戦争を止めることができるのではないかと、私は思います。

悲しみが悲しみでしか返ってこないこの戦争が、世界で止まる日がくることを、私は祈っています。また、今中学生の私たち一人一人がこの思いをしっかりと持ち、次の世代、その次の世代へと伝えていかななくてはならないと思います。それが平和につながると信じています。

平和の象徴

長泉中 猪原陸斗

1945年8月6日、8時15分、広島県に原子爆弾が投下されました。突然の閃光が炸裂し、四方を包み込みました。直径5キロメートルに及び原子爆弾の被害。後の景色は、あまりにも悲惨なものでした。燃え盛る広島に響く呻き声、35万人もの犠牲を出し、今なお悲しみに包まれているということ、信じがたいことではありませんが、実体験だからこそ、素直に聞き入れることができました。

一発の原子爆弾がもたらした悲劇、それは決して癒えることのない傷となりました。熱線により膨れ上がる顔、地上や川に積み重なる死体の山、人々はそれを踏み越え、ただただ逃げ続けていたのです。治療と呼べるものができなかった当時は、痛みを苦しみこの世を去るしかありません。また、放射線の影響により急性障害と呼ばれる症状が現れ皮膚の細胞が死滅していき、最後にはケロイド状になってしまふという残酷な後障害も現れました。

年々被爆体験者は減ってきていき、10年、20年もすれば被爆者は誰一人としていなくなってしまうのです。少しずつ人々の記憶から薄れていく「原爆」の文字。だからこそ、この話を受け来世に伝えていくべきなのは、現在この場にいる我々だと実感しています。平和を問われ、平和とは未だ手の届き得ない近く遠い存在なのだと思身感じていきます。平和な世の中が良いと望むことは簡単です。しかし、現状はどうでしょうか。武力を持ち続け核兵器を保有している国が何十カ国もあるという現実が確かにあるのです。

人それぞれ、平和に対して思う気持ちは違うはずです。ならば、周囲に惑わされず主張していくことで人々の心を揺さぶる「きつかけ」が生まれるのではないかと感じていきます。



70年前の悲しい過去

長泉中 西島皓平

今から70年前の8月6日。広島に原子爆弾が投下された日です。爆心地の上空約600m地点で炸裂し、広島市内を一瞬にしてまばゆい光が包み込みました。炸裂に伴い、放射線、熱線が放たれ、強烈な爆風と衝撃波を巻き起こしました。被爆者数は、ゆうに20万人を越えます。犬であろうが、人であろうが、ビルであろうが、皆、無差別に殺されてしまいました。それは、街にとっての「死」ともいえるものでした。

「3秒間ですよ、誰が逃げられますか」これは、被爆体験講話でお話をしてくださった葉佐井博巳さんの言葉です。葉佐井さんは、原爆が投下された当時の様子について語ってくださいました。そのとき、葉佐井さんは学徒動員により、中学生ながらも爆心地から少し離れた工場で働いていたそうです。爆心地から距離があったため、直接的な被害は受けずに済みました。突然の閃光に驚き、自宅がある広島市に急いで向かいました。広島市に着くと、あたりは火の海だったのです。川には、遺体が覆いかぶさるように浮かんでいました。呻き声や泣き叫ぶ声が絶え間なく聞こえてくる、そんな地獄のような日々を送り、被害が落ち着くと、葉佐井さんから学生は遺体運搬を任されたそうです。髪がじりじりに焼け、血やほこりで黒っぽく赤い体をした遺体が並べられていました。遺体の腕をつかむと、皮膚がないからかヌルヌルし



ていました。

僕は、ここまで聴いたときあまりの衝撃に言葉を失ってしまいました。僕らと同じ中学生がそのような体験を強いられていた、という事実が僕の心はひどく傷みました。話の内容だけでなく、話しているときの葉佐井さんの真剣なまなざしや、力強い声音も印象的でした。

誰も、こんな経験をしたいと思いません。葉佐井さん自身、こんな過去は記憶から消し去ってしまいたいのではないのでしょうか。

平和というものは、待っていてもやってきません。自分たちで創っていくものです。口に出すのも辛いような、悲しい過去があった。しかし、そこから逃避せず、向かい合って考え、みんなで共有しなくてはならないのです。それができなければ、平和は絶対に訪れないということを、研修を通して僕は改めて思いました。あと10年も経てば、被爆者の方々はいなくなってしまう。そうなたるとき、誰がこの悲しい記憶を、何も知らずにあの閃光を見た被爆者たちの心の訴えを、次の世代に伝えていくのでしょうか。現代を生きる僕らに与えられた「使命」と受け止め、果たしていこうと誓いました。

広島平和研修を終えて

北中 宮木夕舞

私は、この研修前に原爆について調べておきました。しかし、その恐ろしさは想像をはるかに超えたものでした。

私が知っていたのは、熱風・爆風・放射線により、多大な被害を受け、特に放射線による影響は長く続いた、というようなことだけでした。

しかし実際には、熱により大やけどを負った多くの人々が手当も回らず亡くなってしまったり、死体が腐敗するためハ工がたかりウジが湧いたりしたといいます。しかし、それはほんの一部です。さらに多くのことが、広島で起きていました。原爆が奪った中で精神的な被害が一番大きかったのです。家族、親戚、友人。大切な人の命を、奪ったのです。

私が見ていたのは、外面でした。今回の研修で、内面に気づきました。一人一人がどんな思いを持っていたのか、外面に気を取られ中身を見ていませんでした。

「考える。考えないで生きること、命を粗末にしていること」に被爆者である、葉佐井さんがおっしゃっていました。私は、考えていませんでした。



ひとつの物事に対し、全てを知り全て理解する。勉強に似ている、と思います。そう考えたら、難しいと思えます。

今、学校に行って仲間がいるということは幸せでしょうか。狭く見たらそう見えるかもしれませんが。ですが視野を広くしたら、どうでしょう。この世の中は平和でしょうか。アフリカで飢えに苦しむ子どもがいたり、核兵器をまだ持っている国があったりします。

一人一人が考えて、時には我慢して行動することが、平和へ近づくために必要であると、私は考えました。

これから私は、まず考えてから行動し、平和とは何か、吟味していきたいです。

広島研修を終えて

北中 松谷百華

広島研修を通して、私は戦争が恐ろしいものだと感じました。

被爆者の方の話は、想像をはるかに超えるものでした。全身の大きさやけど、放射線による後遺症。今では考えられません。

私が資料館で見てとても胸が痛くなったのは、3歳の男の子が乗っていた三輪車です。その日も、男の子は三輪車に乗って遊んでいました。そして、一瞬の光とともに帰らぬ人となりました。こんな小さな子の幸せを奪うのが原子爆弾なのです。

中国新聞社の方の話では、原爆の被害はその時だけではないということ学びました。佐々木禎子さんは、2歳で被爆し、10年後に白血病で短い人生を終えました。私は驚きました。10年もたっているのに原爆の被害があるなんて。

平和記念公園にある「原爆の子の像」は、「禎子さんたちのように、再び原爆によって子どもたちが犠牲にならないように」という願いが込められた像です。私はこの像を見て、胸にこみあげるものがありました。犠牲になった子どもたちの平和への叫びを、しっかり受



け止めなければならぬと思います。

私たちにできることは、原爆投下で起こった出来事をしっかり理解し、未来へ伝えることです。

そして、私たちが生活している今の平和な日常は、当たり前ではなく、平和であることを願いつづけることが大切であると私は思います。



▲広島平和記念資料館で展示されている三輪車

私たちの義務

北中 芦澤 凜

僕がこの広島研修に参加した最大の理由は、僕の曾祖父が実際に第二次世界大戦を経験していて、たびたびその話を聞くからです。

でも、今回広島を訪れてみて、話を聞くよりも悲惨なものでした。特に、平和記念資料館で見た肌の溶けた人形像、講習で聞いた実際に肌が溶けてしまった人を見たときの話が印象に残りました。僕は、今までで、肌が溶けてしまった人やまたそういった話を耳にしたことは一度もありませんでした。こんなことを見て聞いて、毎日を普通に生きていける人たちが、核兵器を使うことで、こうもたやすく苦しんで亡くなって良いはずがないということ強く感じる事ができました。

しかし、現在でもこの世界で、戦争が起こり、広島のように関係のない人々が死んでいきます。戦争をしても、血が流れるだけです。それなのに、欲のために戦争をしかける人たちがいます。でも、戦争に出て血を流すのは、その人ではないのです。この広島原爆も、日本が攻撃をしなければ起きませんでした。無駄に血を流し死んでいく人もいなかったのです。平



和記念公園にも書かれている通り、私たちは過ちを繰り返してはいけません。人間は、過ちを正すことができる動物です。そして、一刻も早く戦争や核兵器を根絶しなくてはなりません。そのためには、まずは私たちが、戦争や核兵器について知って、それを後世や世界に伝えなければなりません。それが、戦争で亡くなっていった方たちの願いでもあり、私たちの義務でもあるのです。

託児スタッフ養成講座受講生を募集します

子育て中の方が安心して学習活動などに参加できるように、子育て支援の一環として、託児ボランティアスタッフを養成する講座です。
ところ／コミュニティながいずみ

対象／町内在住・在勤の方
定員／20人
(定員を超えた場合は抽選)

受講料／無料
申込期限／10月16日(金)

申込方法／電話またはEメールで住所、氏名、電話番号を伝える

■託児を希望される方
保険料／300円
(1人1日につき)

対象／1歳～未就学児

定員／10人(先着順)

※希望者が1人のみの場合は託児はありません。ご了承ください。

申込場所／生涯学習課
問 生涯学習課 ☎986-22289
✉ syogai@nagaizumi.org

なお、この講座はファミリー・サポート・センター事業と連携しています。

■ファミリー・サポート・センター事業とは
子育ての援助を行いたい方(ま

とき	内容	講師
11月12日(木) 9:30~11:30	託児の心構え・ 現在の子育て事情 について	金沢敬子さん (NPO法人あそび 子育て研究協会 東部支部代表)
11月14日(土) 15:00~17:00	乳幼児の病気	洲上佐智子医師 (西村医院・小児科医)
11月20日(金) 9:30~11:30	簡単・楽しい工作	金沢敬子さん
11月27日(金) 9:30~11:30	ふれあい遊び(実践)	

問 こども育成課 ☎989-5528

かせて会員)と子育ての援助を受けた方(おねがい会員)が会員になり、保育園や習い事への送迎などの助け合いを会員間相互に行う仕組みです。
※ファミリー・サポート・センター事業の「まかせて会員・どっちも会員」に登録を希望される方はこの講座を受講する必要があります。

「柿狩り&渋抜き&干し柿づくり」
参加者を募集します

長泉の秋の味覚「四ッ溝柿」の収穫や渋抜き、干し柿づくりが楽しめます。郵送による申し込みが必要です。ぜひ、ご応募ください。

とき／11月15日(日) (小雨決行)

①午前9時~10時

②午前10時~11時

③午前11時~正午

④午後1時~2時

⑤午後2時~3時

ところ／元長窪地先

内容／柿狩り、渋抜き体験、干し柿づくり、柿の直売、とん汁サービスなど

※柿1kgのお土産付きです。

定員／各回30人

(定員を超えた場合は抽選)
参加費 (1人)／600円
(保険料を含む)

※当日ご用意ください。

※ながいずみ観光交流協会会員は500円です。



申込期限／10月10日(土) (必着)

申込方法／往復ハガキに参加希望者全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・代表者の氏名・電話番号を記入して送付

※1枚につき6人まで申し込みできます。なお、重複しての応募はできません。

※後日、代表者に当選結果通知を送付します。

※時間帯、集合場所は参加確定後にご連絡します。

問 ながいずみ観光交流協会 ☎988-8780

〒411-0943

下土狩1321ケニアズビル1階

下土狩1321ケニアズビル1階

下土狩1321ケニアズビル1階

下土狩1321ケニアズビル1階

下土狩1321ケニアズビル1階

下土狩1321ケニアズビル1階

下土狩1321ケニアズビル1階

下土狩1321ケニアズビル1階

下土狩1321ケニアズビル1階



平成28年度採用の長泉町職員を追加募集します

職種(定員) / ①消防職(4人)、
②土木職(1人)、③建築職(1人)

学歴要件
大学・短大卒業程度の方
(平成28年3月卒業見込みを含む)

年齢要件
①平成4年4月2日以降に生まれ
た方
②・③昭和51年4月2日以降に生
まれた方

資格要件など
①視力(矯正視力を含む)が両目
0.8以上、一眼各0.5以上で、
赤・黄・青色の色彩が識別でき、
聴力が左右ともに正常である方

②・③大学、短期大学などで受験
する職種の専門課程を履修し、
卒業した方、または平成28年3
月卒業見込みの方

願書受付期限 / 10月23日(金)(必着)
願書提出方法 / 郵送または直接、
行政課へ提出

※願書は行政課で配布しています。
※この募集は、すでに実施した職
員採用試験の補充を行うもので
あるため、今年度すでに受験さ
れた方は応募できません。

問 行政課 ☎ 989-5500
〒411-8668 中土狩828

■試験方法

□第1次試験

試験日 / 11月14日(土)

試験会場 / 消防庁舎 (予定)

(1)教養試験 9:45~正午

※土木職および建築職については、公
務員受験のための特別な準備が必要
のない試験内容となっています。

(2)専門試験 13:00~15:00

(土木職および建築職)

□第2次試験

(第1次試験の合格者のみ)

試験日 / 11月29日(日) (予定)

試験科目 / 作文試験、個別面接、体力
テスト (消防職のみ)

□第3次試験

(第2次試験の合格者のみ)

試験日 / 12月18日(金) (予定)

試験科目 / 個別面接

※第2・3次試験の試験会場は、合格
者に対し別途通知します。

森山良子コンサートツアー2015~2016
「フォークソングの時代」

森山良子が歌うフォークソングの数々をお楽しみください。

と き / 平成28年2月14日(日)
と ころ / ベルフォーレ・ホール

開 場 / 午後4時30分
開 演 / 午後5時

入 場 料 / (全席指定)
5000円
(当日5500円)

※未就学児の入場はご遠慮くださ
い。

問 ベルフォーレ ☎ 989-0001



チケット発売

	発売日
「ベルフォーレ友の会」 会員先販販売開始 (電話予約は13:00~)	10/10(土)
一般販売開始 (電話予約は13:00~)	10/17(土)

ベルフォーレ、コミュニティながいずみ、三島・
裾野・御殿場・小山の各文化会館、沼津・三島の
プレイガイド、チケットぴあ、ローソンチケット
で販売

■チケット販売時間

ベルフォーレ / 9:00~21:00

毎月第1月曜日休館(祝・休日の場合は翌日休館)

コミュニティながいずみ / 9:00~17:15

毎週月曜日休館(月曜日が祝・休日の場合は開館)

お知らせ

Information



10月は児童手当の支給月です

今回は6月から9月までの4カ月分が支給されます。

なお、金融機関や口座名義人の氏名を変更したとき、子どもが生まれたとき、子どもを養育しなくなったとき、公務員になったとき、住所変更をしたときは、必ず手続きをしてください。

出生などにより増額になる場合、申請をした日の属する月の翌月からが支給の対象になりますので、手続きが遅れないようにご注意ください。

支給日／10月13日(火)
問 子育て成課 ☎989-5528

里親になりませんか
〜10月は里親月間です〜

里親制度とは、さまざまな事情により家庭で養育されることが難しい子どもを、知事が認定した里親に預け、温かい愛情と正しい理解をもって養育する制度です。

子どもたちは、温かい家庭生活の体験の機会を提供してくれる里親を求めています。

■里親になるには

里親の申し込みは年間を通していつでも受け付けています。県が実施する研修を修了し、知事が里親として認定した方は、里親名簿に登録されます。

※申込時に面接が必要です。
※申込方法など詳細はお問い合わせください。

■里親になったら

① 児童相談所が里親の希望を聞いたうえで、養育をお願いする子どもを決めます。

② 子どもを養育している間は、定められた養育に必要な経費が支払われます。

③ 子育ての悩みや不安には、児童相談所が相談に応じます。

問 子育て成課 ☎989-5528
東部児童相談所 ☎920-2083

成人健康相談をご利用ください

保健師・管理栄養士による健康相談です。生活習慣病の予防や骨粗しょう症など健康に関してお気軽にご相談ください。

希望者には骨密度・血圧・体脂肪測定や健診結果の説明も行います。測定のみ利用もできます。

とき／毎月第1・3木曜日
午前9時〜11時
ところ／ウエルピアながいずみ

対象／町内在住の方

相談料／無料

※相談を希望される方は、直接会場にお越しください。

問 健康増進課 ☎986-8760

町の各種検診をまだ受診していない方へのお知らせです

各種がん検診・特定健診・後期高齢者健康診査の受診期限は10月31日(土)までです。忘れずに受診しましょう。

受診期限の間際は混雑が予想され、希望する医療機関で受診できないことがありますので、早めの受診をお勧めします。

受診する際は6月上旬に町から郵送されている「長泉町成人健康診査受診票」(黄色)が必要です。受診票を紛失した場合は、再発行の手続きが必要になりますので、お問い合わせください。

問 健康増進課 ☎986-8760

長泉町医師クラブの「医師による無料の健康相談」をご利用ください

長泉町医師クラブの医師による無料の健康相談が行われます。血圧や生活習慣病が気になる方、そのほか体調のことで医師に相談

してみたい方などお気軽にご相談ください。

■10月の相談

とき／10月20日(火)午後2時〜3時
ところ／ウエルピアながいずみ

担当医／菊池充比古先生
(きんくちクリニック院長、内科・循環器内科)

対象／町内在住の方

定員／4人(要予約)

予約受付期間／

10月5日(月)〜16日(金)

※電話でお申し込みください。

問 健康増進課 ☎986-8760

町民図書館を臨時休館します

蔵書点検のため左記の期間は、町民図書館を臨時休館します。皆様のご理解とご協力をお願いします。

とき／10月19日(月)〜26日(月)

■休館中の返却

10月20日(火)から25日(日)の午前9時から午後5時の間は図書館入口で返却を受け付けています。

※そのほかの時間帯や月曜日は図書返却ポストをご利用ください。

※ビデオ・CD・DVDは破損の恐れがあるため、図書返却ポストには投函しないでください。
問 町民図書館 ☎988-7801



「ポッチとニャンチの愛の 伝言板」をご利用ください

家庭で飼っている犬・猫などの動物を「譲りたい人」と「譲り受けた人」との間をつなぐ「ポッチとニャンチの愛の伝言板」をご利用ください。
ところ／くらし環境課

対象動物／犬・猫などの小動物
利用方法／

■譲りたい人

伝言票に必要事項を記入し、ペットの写真と共に伝言板に掲示

■譲り受けた人

伝言板を確認し、譲りたい人と直接電話などで話し合う

提示期間／1カ月

※営利目的での利用はお断りします。
※金銭面などのトラブルには一切介入しません。

問 くらし環境課 ☎989-55514

PCB廃棄物を保管している 事業所の皆さんへ 適正な処理にご協力ください

有害物質であるポリ塩化ビフェニル(PCB)が使われたコンデンサーやトランスなどを含む使用済み電気機器(PCB廃棄物)を保管または使用している場合は届出が必要です。保管、処分方法は県

廃棄物リサイクル課へお問合せください。

問 県廃棄物リサイクル課

☎054-221-2424



タブレット端末で 新聞記事をご覧くださいませんか

図書館では、タブレット端末で新聞記事を検索して閲覧することができます。今回、閲覧方法を学ぶ講習会を開催します。

と き／11月5日(木)

午後2時～3時30分

ところ／コミュニティながいずみ
内容／タブレット操作、新聞記事検索

定員／12人

(応募者多数の場合は抽選)

申込開始／10月9日(金)～23日(金)

※電話でお申し込みください。

※タブレット端末は町が用意します。

問 町民図書館 ☎988-7801

消防車に乗って火災予防の パトロールをしてみませんか

秋の火災予防運動期間に合わせて、消防団が町内をパトロールします。

皆さんも消防団員と一緒に消防車に乗って火災予防を呼びかけてみませんか。

と き／11月15日(日)

午前8時50分～11時

内容／消防車に乗車して、火災予防の呼びかけ

対象／町内在住の小学生

※保護者は同乗できません。

定員／14人(先着順)

参加費／無料

申込期間／10月13日(火)～23日(金)

※電話でお申し込みください。

問 消防署 ☎986-11199

「きらめき☆介護教室」に 参加しませんか

高齢者を介護する家族の方を対象に介護教室を開催します。

初めて介護をする方はもちろん、

現在介護をしている方も一緒に介護について学んでみませんか。

都合の良い回のみ参加することもできます。

と き／

①実践!!介護技術

10月21日(水)午前10時～11時30分

②介護者リフレッシュ体操

10月26日(月)午後1時30分～3時

③介護者の健康と認知症予防

10月30日(金)午前10時～11時30分

ところ／

- ①南部地区センター
- ②役場西館4階大会議室
- ③コミュニティながいずみ

対象／

町内在住で、要支援・要介護認定を受けている方(在宅)の家族

定員／各回15人(先着順)

参加費／無料

※電話でお申し込みください。

※各施設、駐車台数に限りがありますので、公共交通機関などでの来場にご協力をお願いします。

問 長寿介護課 ☎989-55537

「介護者リフレッシュ事業」 に参加しませんか

日帰りバス旅行(昼食付き)を通じて、介護について理解し合える仲間と交流し、リフレッシュしませんか。ぜひ、ご参加ください。

と き／11月9日(月)

午前9時30分～午後3時(予定)

ところ／伊豆方面

対象／町内在住で、自宅でも介護認定1～5の方と同一世帯に

居住し、実際に介護をしている

方(1世帯1人まで)

定員／25人(先着順)

参加費／無料

申込期間／10月23日(金)まで

※電話でお申し込みください。

問 長寿介護課 ☎989-55537

介護予防講演会
「口は健康の入口 心の出口」
参加者を募集します

いつまでも元気で生活できるよう、口腔機能を維持・向上させる方法を学びましょう。

とき／11月18日(水)

午後1時30分～3時

ところ／福祉会館

演題／口は健康の入口 心の出口
講師／米山武義医師(米山歯科)

クリニック院長、歯科医)

対象／町内在住の方

定員／20人(先着順)

参加費／無料

持ち物／筆記用具、タオル、飲み物

申込期限／11月11日(水)

※電話でお申し込みください。

問 長寿介護課 ☎989-5537

「長泉町くらしのセミナー」
参加者を募集します

■第1回「今を考える生活マネー・家族のための相続情報」

とき／11月5日(木)

午後1時30分～3時

ところ／ながいずみホーム「モク

オハナ」(下長窪781-1)

講師／安藤絵理さん

(ファイナンシャルプランナー)

■第2回

「高齢者向けの食事について」
とき／11月12日(木)
午後1時30分～3時
ところ／さつき園
(下土狩457-2)

講師／杉山清子さん

(二島総合病院、栄養管理室長)

■共通事項

対象／町内在住または在勤の方

定員／若干名(先着順)

参加費／無料

申込期間／10月15日(木)～各開催日

の前日まで

申込方法／電話またはEメールで、

氏名、住所(在勤の方は勤務先

の住所)、電話番号、参加希望の

回を伝える

問 くらし環境課 ☎989-5514

✉kankyo@nagazumi.org

動物愛護ボランティア
意見交換会にご参加ください

とき／10月30日(金)

午後1時30分～3時30分

ところ／東部総合庁舎

(沼津市高島本町1-3)

内容／県動物愛護管理推進計画

の進捗状況、災害時におけるベッ

トへの対応、意見交換など

対象／動物愛護ボランティア活

動を行っている方、活動に興味

がある方

申込期限／10月19日(月)
※電話でお申し込みください。
問 くらし環境課 ☎989-5514

「ワンデイ桃沢」
参加者を募集します

とき／11月14日(土)

午前9時30分～午後1時30分

ところ／桃沢野外活動センター

内容／うどん作り体験

対象／小学生を含む家族

(1家族4人まで)

定員／7家族28人(先着順)

参加費(1人)／500円

※当日ご用意ください。

申込期間／10月10日(土)～18日(日)

※電話でお申し込みください。

問 桃沢野外活動センター

☎987-5100

「家族のための精神保健福祉
講座」参加者を募集します

こころの病気の理解や対応の仕

方などを学ぶ全3回の講座です。

とき／

■第1回「こころの病を理解する」

10月8日(木)午後1時30分～4時

■第2回「こころの病気と医療機

関の利用の仕方」

10月13日(火)午後1時30分～4時

■第3回「家族と本人を支える地

域の社会資源と制度」
10月27日(火)午後1時30分～4時
ところ／東部総合庁舎
(沼津市高島本町1-3)

対象／統合失調症など、こころ

の病にかかっている方の家族

定員／50人(先着順)

参加費／無料

※電話でお申し込みください。

問 東部健康福祉センター

☎920-2087



「あざれあメッセ2015」
を開催します

男女共同参画について理解と関

心を深めてもらうため、家族で楽

しめるイベントを開催します。

とき／10月24日(土)

午前10時～午後4時

ところ／

県男女共同参画センターあざれあ

(静岡市駿河区馬淵1-17-1)

内容／ワークショップ、映画、

読み聞かせ、出展ブース、男女

共同参画の紹介など

※直接、会場にお越しください。
問 あざれあメッセ2015事務局
☎054-250-8147

「子育てフェスティバル」を開催します

子育て支援センターや児童館、地域子育てサークルによる親子で楽しめるイベントを開催します。

とき／10月30日(金)

午前10時30分～午後2時

ところ／ウエルピアながいずみ

内容／手作りおもちゃ、リトミック遊び、読み聞かせなど

対象／未就園児とその保護者

参加費／無料

※直接、会場へお越しください。

※駐車場数に限りがありますので、公共交通機関などでの来場にご協力ください。

問 ことば育成課 ☎989-55528

駿豆地区障がい者自立支援協議会「一般報告会」「分科会」を開催します

駿豆地区障がい者自立支援協議会では、障がいがある方が住み慣れた地域であたりまえに暮らすことができる地域づくりを目指し活動しています。

今回は、一般報告会および分科会を開催し、これまでの活動報告や参加者の皆さんと意見交換を行います。

とき／10月31日(土)

・一般報告会
午後1時30分～2時45分
・分科会 午後2時50分～4時

ところ／三島市中郷公民館
(三島市梅名353-1)

分科会テーマ／

①居場所づくり

②就労の悩み

③災害時の障がい者サポート

④ことば・育つ・つなげる
入場料／無料

申込期限／10月14日(水)

申込方法／参加を希望する分科会テーマを電話で伝える

※託児が必要な方は申込時に伝えてください。

※一般報告会では手話通訳、要約筆記の準備があります。

問 福祉保険課 ☎989-5512

相談支援事業所ゆうづん

☎941-6015



行政書士会による無料相談会を開催します

官公署に提出する書類などの作成や手続きを代理で行ったり、相談に応じたりする法律の専門家による相談会を開催します。相続、

遺言、土地の有効活用などに関して、お気軽にご相談ください。

とき／10月16日(金)

午後1時30分～4時30分

ところ／総合相談センター
(役場北館2階)

相談料／無料

※直接、会場にお越しください。

問 県行政書士会三島支部

☎978-1113

知徳高校オープンスクールを開催します

地域の皆さんに知徳高校を知っていただくため、オープンスクールを開催します。

とき／

■10月15日(木)、16日(金)

午前8時45分～午後12時35分

■10月17日(土)

午前8時45分～11時35分

ところ／知徳高校(竹原354)

内容／

授業(通常日課)、施設見学

※17日(土)のみ午後2時まで部活動見学が可能です。

対象／

地域住民、保護者、同窓生、学校関係者(近隣中学・高校)など

※直接、会場にお越しください。

事務室にて受け付けをします。

問 知徳高校 ☎975-0080

脳いきいき講座参加者を募集します

認知症の仕組みを知り、認知症にならない・させないための生活習慣をわかりやすく学びましょう。

とき／11月7日(土)

午後1時30分～3時30分

ところ／福祉会館

内容／

■第一部 認知症の正しい理解

■第二部 認知症の予防と秘訣

講師／志村孚城さん(日本早期認知症学会理事長)、奥山恵理子

さん(日本認知症ケア学会代議員)

定員／80人(先着順)

参加費／無料

※電話でお申し込みください

問 ライフサポートセンター(東部)

☎929-9820

「沼津市退職教職員作品展」を開催します

とき／10月20日(火)～25日(日)
午前9時30分～午後4時30分

ところ／沼津教育会館
(沼津市本字丸子町752-11)

内容／絵画・書・工芸・陶芸・彫塑・写真・文芸などの展示

入場料／無料

※直接、会場にお越しください。

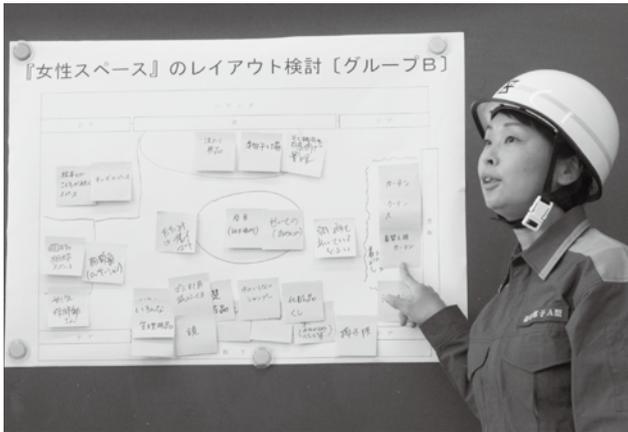
問 沼津教育会館 ☎964-5500

●掲示板に掲載を希望される方は、次のことにご注意ください●

①原稿には「とき、ところ、内容、対象、定員、参加費、申込期限、問い合わせ先、電話番号」を記載してください。②開催日、申込期限は、広報発行日の10日以降に設定してください。③掲載は町内で無料で開催されるものを優先させていただきます。④情報は紙面の都合上、内容の省略および掲載できない場合があります。⑤原稿の提出期限は掲載を希望する広報発行日の1カ月前とさせていただきます。

多様な視点に配慮した 避難所設置訓練

8月30日(日)に行われた総合防災訓練の中で、初めての取り組みとして「多様な視点に配慮した避難所設置訓練」を行いました。子育て中の町女性職員や幼稚園教諭が参加し、講師の池田恵子さん(静岡大学教育学部教授)の助言のもとに、乳幼児のいる世帯や妊産婦が持つ不安を考慮した避難所のレイアウトなどを検討しました。



安心な生活を支えるため 高齢者見守り協定を締結

町は(株)セブン-イレブン・ジャパンと「高齢者等見守りネットワーク事業協定」を締結し、8月21日(金)に調印式を行いました。宅配サービス中に高齢者宅の異変に気付いたときに町へ通報するなど、高齢者の見守りに協力する協定です。

町長は「高齢者が安心して生活できるまちづくりを強化したい」と話しました。

10人の方が100歳に！ おめでとうございます

今年度、10人の町民の方が満100歳を迎えます。8月に町長が自宅などを訪問し、祝福しました。100歳を迎えられた方は次の皆さんです。おめでとうございます！

川口ふささん(下土狩)	平田かねさん(中土狩)
北野あきさん(中土狩)	渡邊みさをさん(本宿)
土屋貞雄さん(下長窪)	廣瀬シノさん(下長窪)
藍澤すな子さん(下土狩)	立林松雄さん(中土狩)
杉山よし江さん(納米里)	成田 貞さん(元長窪)



鮎壺の滝の魅力を町外にも 焼津市ウォーキング部訪問

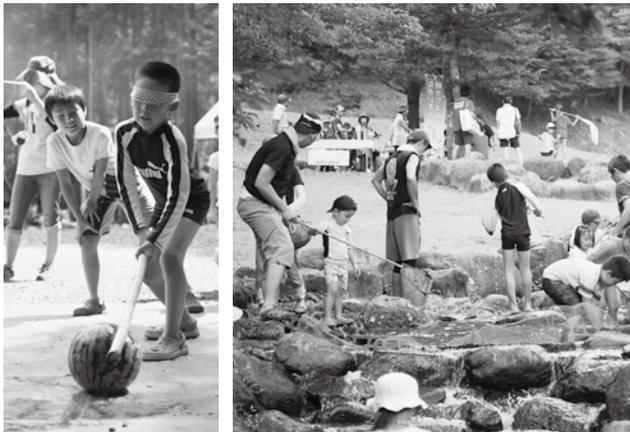
焼津市年金受給者協会ウォーキング部の会員80人が、8月27日(木)に鮎壺の滝を訪れました。会員の皆さんはガイドの説明を熱心に聞きながら「街中にこんなに大きな滝があって素晴らしい。説明を聞きながら滝を見ると、ただ滝を見るのとは異なる魅力を知ることができた」と話してくれました。



自然の中で遊ぼう！ ワンデーチャレンジ

9月5日(土)に水と緑の杜公園を会場にワンデーチャレンジが開催され、家族や友だち同士など、約250の方が参加しました。

参加者たちは、アマゴのつかみ取りや竹のおもち作り、スイカ割りなどを楽しんだり、レスキュー講座で水の事故の対処法などを学んだり、自然の中での遊びを満喫しました。



世界レベルの試合を間近に！ アメリカ代表のプレーを観戦

三島市と長泉町では、住民に世界最高レベルの試合を観戦してもらおうと、バレーボールのワールドカップ大会に備えて三島市内で合宿を行っていたアメリカ男子代表チームを招き、9月2日(水)に東レアローズ体育館で東レアローズとのエキシビションマッチを企画しました。集まった観客は、迫力ある試合に夢中になって声援を贈っていました。

海を越えてワンガヌイへ！ ニュージーランド語学研修

8月17日(月)から25日(火)に町内の中学生12人が国際姉妹都市ワンガヌイを訪れ、ホームステイをしながら現地のラザフォード中学校に通いました。また、大自然の中でのウォーキングや乗馬を体験したり、博物館でマオリ文化を学んだり、ワンガヌイの自然文化を直接肌で感じてきました。最初は不安げな表情を浮かべていた研修生たちですが、最終日には「まだ帰りたくない！」と涙を浮かべる姿が見られました。



▲市内の植物園ブッシーパークにて野鳥見学



▲ラザフォード中学校の学生と



▲市長表敬訪問も行いました

総合防災訓練を開催

青木村では、9月6日(日)に総合防災訓練を開催しました。消防団では、早朝6時から「道の駅あおき」を出火地点とし、周辺の国道を片側通行規制とするなどして火災想定訓練を行いました。

また、土砂災害警戒情報が発表され、村内全域に避難指示が出たという想定のもと、ハザードマップを活用し各地区の危険箇所の安全確認を行う訓練も実施しました。区と消防団が連携して行うという初の試みでしたが、今回だけでなく、今後もより連携を深めた体制作りが期待されます。



地域の魅力再発見 ジオパーク Vol.7 だより

問い合わせ 産業振興課 ☎989-5516
ながいずみ観光交流協会 ☎988-8780

幻の「つるべ落としの滝」

つるべ落としの滝は、^{ばんじょうせつり}板状節理の発達した愛鷹山の溶岩にかかる落差20mの滝です。愛鷹山水神社からつるべ落としの滝に至る遊歩道では、同様の板状節理や溶岩の表面を溪流が削ってできた千じょう岩など、安山岩質の厚い溶岩流がつくる地形や構造を楽しむことができます。

水が流れ落ちている様子は、梅雨などの雨量の多い時期にしか見ることができず、「幻の滝」とも呼ばれています。



雨量の多い時期の滝（左）と少ない時期の滝（右）。全く水が見えないこともあります。

Interview

つるべ落としの滝の上には沢があり、水が流れているのですが、滝にたどり着くまでにほとんどの水が見えなくなってしまいます。愛鷹山の滝はほとんどが「幻の滝」で、水が流れている滝のほうが珍しいです。溶岩の中には割れ目がたくさんあって、水が染み込みやすくなっているので、よほど水が多い時期でないとうちには出てきません。山を登るとき、そういった滝を見つけるのも楽しみのひとつになっています。



後藤治彦さん

元長窪在住。桃沢川から愛鷹山を考える会「MAC」会員。愛鷹山の地形・動植物などに詳しい。



つるべ落としの滝は、長泉町森林公園または愛鷹山水神社からのハイキングコース上にあります。詳しくは、産業振興課で配布しているハイキングガイドをご覧ください。

10月16日～31日 救急協力医

協力医が変更される場合がありますので
事前に電話で確認してください。

救急協力医テレホンサービス

☎ 055-935-0119

	外科	平日 17:00～21:00 土曜日 正午～18:00 日、祝・休日 8:00～18:00	内科	平日 17:00～21:00 土曜日 正午～18:00 日、祝・休日 8:00～18:00	小児科	平日 17:00～21:00 土曜日 正午～18:00 日、祝・休日 8:00～18:00
16日(金)	萩野クリニック (966)7111	沼津市根古屋	花クリニック (987)9145	長泉町下土狩	さくま小児科 (992)6303	裾野市茶畑
17日(土)	池田病院 (986)1212	長泉町本宿	望星第一クリニック (922)0222	沼津市柳町	りゅうじん医院 (988)3133	長泉町下土狩
18日(日)	遠藤医院 (997)0533 五十嵐クリニック (934)6700	裾野市葛山 沼津市志下	かとう内科医院 (946)5562 池田病院 (986)1212 遠藤医院 (997)0533	沼津市大岡 長泉町本宿 裾野市葛山	田中医院 (921)2053	沼津市高島町
19日(月)	田沢医院 (962)1205	沼津市大手町	東名裾野病院 (997)0200	裾野市御宿	西村医院 (971)6510	長泉町下土狩
20日(火)	ひがしおかクリニック (941)8269	清水町柿田	清水館医院 (993)2323	裾野市茶畑	すずきファミリー (960)0333	沼津市一本松
21日(水)	酒井医院 (966)1755	沼津市今沢	葉袋クリニック (933)0148	清水町徳倉	杉谷小児科 (923)6543	沼津市筒井町
22日(木)	池田病院 (986)1212	長泉町本宿	あそうクリニック (929)7575	沼津市筒井町	坂小児科 (931)3233	沼津市下香貫前原
23日(金)	関外科 (921)2185	沼津市花園町	本村クリニック (969)0001	沼津市大塚	まるやま小児科 (981)8577	清水町堂庭
24日(土)	聖隷沼津 (952)1000	沼津市松下	杉山病院 (963)4114	沼津市錦町	さくま小児科 (992)6303	裾野市茶畑
25日(日)	遠藤クリニック (975)8801 山本整形外科・循環器科 (989)8111	清水町久米田 長泉町南一色	林(秀)医院 (931)1120 やぐちクリニック (973)3811 新井クリニック (992)0811	沼津市住吉町 清水町伏見 裾野市久根	すずきファミリー (960)0333	沼津市一本松
26日(月)	香貫医院 (931)2465	沼津市本郷町	小林(今沢)医院 (966)7700	沼津市今沢	まるやま小児科 (981)8577	清水町堂庭
27日(火)	東医院 (921)5520	沼津市高沢町	べっく・クリニック (921)1300	沼津市西沢田	りゅうじん医院 (988)3133	長泉町下土狩
28日(水)	おおしろクリニック (976)0027	清水町堂庭	福土クリニック (932)3553	沼津市下香貫藤井原	田中医院 (921)2053	沼津市高島町
29日(木)	池田病院 (986)1212	長泉町本宿	今井医院 (921)3211	沼津市五月町	西村医院 (971)6510	長泉町下土狩
30日(金)	ふじわらクリニック (924)8777	沼津市寿町	さはこクリニック (999)3850	長泉町中土狩	大橋内科・小児科 (992)2800	裾野市佐野
31日(土)	瀬尾記念慶友 (935)1511	沼津市下香貫島郷	大橋内科・小児科 (992)2800	裾野市佐野	杉谷小児科 (923)6543	沼津市筒井町

耳鼻科 8:00～17:00	18日(日)	善得クリニック 0545(51)8733 富士市今泉	25日(日)	内藤耳鼻咽喉科 (987)1717 長泉町桜堤
眼科 8:00～17:00	18日(日)	小野眼科 (929)1881 沼津市高島町	25日(日)	アミクリニック (981)3341 清水町長沢
産婦人科 8:00～17:00	18日(日)	聖隷沼津 (952)1000 沼津市松下	25日(日)	岩端医院 (962)1368 沼津市大手町
歯科 9:00～15:00	18日(日)	しんあい歯科医院 (973)6686 清水町伏見	25日(日)	梶歯科医院 (994)1344 裾野市石脇

沼津夜間救急医療センター
☎ 055-926-8699
沼津市日の出町1-15

外科・内科・小児科

平日 20:30～翌朝7:00
土、日、祝・休日 18:00～翌朝7:00

三島メディカルセンター
☎ 055-972-0711
三島市南本町4-31

外科・内科・小児科

平日 18:00～22:00
土曜日 14:00～21:00
日、祝・休日 9:00～21:00

※10月10日(土)の小児科はさくま小児科から「よざ小児科 (967) 5722 沼津市原」に変更になりました。

1歳6カ月の

おともだち

9月11日(金)

1歳6カ月児健診で撮影

H26.2月生まれ

あつまれ



この広報紙は再生紙を使用しています。